



2019年10月28日

各位

上場会社名 高砂鐵工株式会社
 代表者 代表取締役社長 山田 健司
 (コード番号 5458)
 問合せ先責任者 経理部長 梅澤 茂樹
 (TEL 03-5399-8111)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。
 あわせて、当期の配当予想も下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,200	180	170	120	39.97
今回修正予想(B)	4,773	78	74	16	5.33
増減額(B-A)	△427	△102	△96	△104	
増減率(%)	△8.2	△56.7	△56.5	△86.7	
(ご参考)前期第2四半期実績(2019年3月期第2四半期)	5,564	271	266	216	72.10

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,300	560	540	430	143.22
今回修正予想(B)	10,000	260	250	150	49.96
増減額(B-A)	△1,300	△300	△290	△280	
増減率(%)	△11.5	△53.6	△53.7	△65.1	
(ご参考)前期実績(2019年3月期)	10,990	551	537	423	141.03

修正の理由

(1) 第2四半期累計期間の業績予想の修正

当社の業績は、国内外の自動車向け需要動向に大きな影響を受けますが、米中貿易摩擦の影響等により特に中国での自動車販売台数が落ち込んでいることや、鋼材市況が全般に低調な中で当社原料鋼材の価格上昇圧力が強まっていることなど、厳しい環境が続いております。

第2四半期累計期間の業績につきましては、主力のみがき帯鋼において自動車部品向け受注数量が大きく落ち込み、また、ステンレスにおいても加工品や子会社でのステンレス鋼材の卸販売に力強さがなく、売上高・利益面ともに前回予想を下回る見通しとなりました。

(2) 通期の業績予想の修正

上半期(第2四半期累計期間)の下振れに加えて、前回業績予想時点では下半期については事業環境の改善を見込んでおりましたが、現時点においては、下半期はある程度の需要の回復は見込めるものの、本格的な需要の回復にはまだ時間を要する状況となっております。拡販・販価改定・コスト低減等の収益改善策を強力に進めてまいりますが、売上高・利益面ともに前回予想を下回る見通しです。

(業績予想に関する留意事項)

本資料における予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2019年5月10日発表)	—	0.00	—	—	—
今回修正予想	—	0.00	—	10.00	10.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2019年3月期)	—	0.00	—	20.00	20.00

修正の理由

当社は、安定的な経営基盤の確保に努めるとともに、利益状況に対応した配当を行うことを基本として株主の皆様への利益還元を図っていく方針です。
2020年3月期期末配当予想につきましては、これまで未定としておりましたが、上記の基本方針のもと、当期の業績予想及び財務体質等を総合的に勘案し、1株当たり10円とさせていただきます。株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上